



スペースを有効活用できるコンパクトデザインでありながら豊富なポート類を持つ「HP MP9 G4」

あの薬が入っていなかったと相談されても確認する方法がありませんでしたが、「PROOFIT 1D」なら一包ごとに画像として保管・管理されているのですぐ呼び出してチェックできます。監査支援システムとしてはもちろんですが、薬局の安心安全レベルの向上にもお役にたてているようです」と鈴木氏は語ります。

鈴木氏には「業務効率化はもちろんですが、薬剤師の皆様が安心・安全に仕事ができる環境作りに貢献していきたいと考えています」と最後に語っていただきました。HPも富士フィルム富山化学株式会社様の活躍を支えるべく、これからも精いっぱいサポートを続けていきます。

(取材時2019年11月)

富士フィルム富山化学株式会社

会社名

富士フィルム富山化学株式会社

代表者

代表取締役社長 岡田 淳二

本社

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング

設立

1968年12月5日

事業内容

医薬品および関連機器の研究、開発、製造、販売、輸出、輸入

資本金

100百万円

URL

<http://fftc.fujifilm.co.jp/index.html>

お問い合わせはカスタマー・インフォメーションセンターへ

0120-436-555 受付時間:月曜～金曜 9:00～19:00 土曜 10:00～17:00(日曜、祝日、5月1日、年末年始など、日本HP指定の休業日を除く)
※フリーダイヤルがご利用いただけない場合 03-5749-8343(直通)

HPリテールソリューションに関する情報は <https://www.hp.com/jp/pos>

Intel、インテル、Intel ロゴ、Ultrabook、Celeron、Celeron Inside、Core Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel vPro、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Phi、Xeon Inside、Intel Optane は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

引用された製品は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

記載事項は2019年12月現在のものです。

本カタログに記載された内容は、予告なく変更されることがあります。

© Copyright 2019 HP Development Company, L.P.

株式会社 日本HP

〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1



富士フィルム富山化学株式会社



薬局に“なくてはならない”存在に
HP ロングライフPCを採用した一包化監査支援システム
「PROOFIT 1D(プルーフフィット ワンドース)」で
薬剤師の業務負担を大幅に軽減



薬局では、患者が薬剤の誤飲や飲み忘れをしないよう、服用時期が同じ複数の薬剤を一包化するケースが増えています。それに伴い増加する薬剤師の「一包化の目視監査」業務負担を軽減するため、富士フィルム富山化学株式会社が販売しているのが、一包化監査支援システム「PROOFIT 1D」です。このシステムにはHPのロングライフPCが採用されているといます。どのように活用されているか、伺ってきましたので紹介しましょう。



富士フィルム富山化学株式会社
医薬IoTソリューション部
マネージャー
鈴木信之氏



富士フィルム富山化学株式会社
医薬IoTソリューション部
クランプトン暁子氏

負担が大きい 一包化監査業務を支援

富士フィルム富山化学株式会社(以下、富士フィルム富山化学)は医薬品をはじめサービスソリューションソフトや機器開発などを手掛けており、2019年1月には一包化調剤の監査支援システム「PROOFIT 1D」をリリースしたことで注目を集めています。「全国の薬局の方々とお話をする中で、一包化された薬剤を患者様に手渡す前に種類や数量に間違いがないかどうかを目視で確認する業務が、大きな作業負担と心理的負担につながっていることがわかりました。この一包化監査業務に対して、富士フィルムで培われた高画質撮影と画像処理技術が使えないだろうか、と考え始めたのがきっかけです」と鈴木氏は語ります。

薬剤師には患者に薬剤を渡す際に、薬剤の種類や数量に間違いがないかを確認する監査業務が義務付けられています。また高齢化の進展に伴い、介護施設や在宅の患者への一包化ニーズも高まっています。したがって、一包化された薬剤の目視監査業務の効率化は、多くの薬局が求めているといえます。「錠剤やカプセル剤は通常PTP包装されて保管されています。

その場合はパッケージに薬の種類や含量が記載されていますので薬剤の種類を確認しやすいのですが、一包化された場合は一つの袋の中に複数の異なる薬剤が存在することが多く、薬剤表面の刻印や印字を識別するのも大変です。もちろんミスは許されませんから、薬局や薬剤師の負担は相当なものだったはず」と鈴木氏は語ります。そこで富士フィルム富山化学では、富士フィルムグループが持つテクノロジーとノウハウを活かしたシステムの開発に乗り出すことにしました。

ITで実現する 監査支援システム

「PROOFIT 1D」は高度な光学設計技術や画像処理技術により、錠剤やカプセル剤の高画質撮影を実現。さらに独自の画像認識技術で、一つ一つの錠剤の刻印や文字、カプセル剤の色や形などを高速・高精度に読み取ります。

「PROOFIT 1D」は人間の腰上ほどのサイズの筐体に納められた機器で、一包化された薬剤を読み取る本体と、それを分析するコンピューター、解析結果を表示するディスプレイによって構成されています。「ソフトウェアの制御や、各システムとの連携に



一包化監査支援システム「PROOFIT 1D」



HP ロングライフPC「HP MP9 G4」

はHP ロングライフPC HP MP9 G4を使っています。「PROOFIT 1D」の要件に合うコンピューターということで採用しました」(鈴木氏)。

薬局で使われる機器は6年以上稼働するものが多く、その間に大幅なアップデートやモデルチェンジが無く、安定して使えるコンピューターが必要になるといいます。また、撮影デバイスや薬局内LAN、外部接続のためのルーターなどと連携する必要があるため、ポート類を豊富に持つコンピューターが求められるそうです。「それに加えて、コンピューターはケーブルの取り回しが良いように「PROOFIT 1D」の上に置かれます。従って省スペースでデザインの良い製品が求められました」と鈴木氏。

HP MP9 G4はソフトウェアのアップデート無しに10年間機能を固定でき、保守パーツも長期保管している製品です。そのため、「PROOFIT 1D」のように薬局での長期使用を前提とした機器との組み合わせは理想的といえます。また、連携システムとしても構成できるように開発されているため、旧世代を含む豊富なポート類を持っていることも特長です。

「HP MP9 G4は「PROOFIT 1D」のメインコンピューターになっています。一度モデルチェンジをした際も、検証作業などにそれなりの苦労はありましたが、コンピューター由来のトラブルはありませんでした。とてもよく働いてくれていると思います」と鈴木氏はいいます。



「HP EliteDisplay 23インチワイド
タッチモニターE230t」



HP ロングライフPC HP MP9 G4は、その特徴を最大限に活かすことで、「PROOFIT 1D」の高性能をいかに発揮できるよう、しっかりと支えています。

目視監査の 負担軽減への工夫

「PROOFIT 1D」は薬剤の識別だけでなく、目視監査への負担を削減するための工夫が随所になされています。「ディスプレイに表示される錠剤は表裏や刻印の向きをそろえた状態での、一包化された薬剤の一覧表示が可能です。また刻印は簡単に強調表示ができ、ディスプレイを見ながらの目視確認がとても容易になります。一包化調剤の際に予期せず起こる異常も発見しやすいので目視監査の負担は大きく軽減できているようです」(鈴木氏)

また、お客様でもある薬剤師の方々と接する機会が多い、薬剤師向け機関紙「Be Lively」の編集を担当しているクランプトン暁子氏は「導入いただいた薬局からは様々なお声をいただいておりますが、一番うれしいのは“なくてはならないシステム”だという感想ですね。業務負担が減ってその分の時間を患者様への対人業務に充てられるので、薬剤師に求められている、患者様に安心を届けるという本来の仕事に時間をより多くとれるようになっているそうです」と語ります。「PROOFIT 1D」による導入効果は業務負担軽減だけでなく、薬剤師の本来の役割を発揮するという部分においても貢献しているのです。

「今までは、薬剤師は患者様から例えば



一包化された薬剤の目視監査の現状について語る鈴木氏